

参考資料 1

仲町公民館・仲町図書館建替え方針をめぐって

～人と情報の出会いの場～

2011年3月
小平市図書館協議会

仲町図書館・仲町公民館建替え方針をめぐって

～人と情報の出会いの場～

1. はじめに

今期の図書館協議会では、図書館にどうしたら来ていただけるか、どうしたらより分かりやすく図書館を利用していただけるか、など図書館をより身近かに感じて利用していただくための広報活動について話し合っていたが、2010(平成22)年になると、仲町図書館の改築の話が現実味を増してきた。

仲町図書館改築の話は、同時に仲町公民館の改築も含んでおり、小平市の文化発展の中心的建物の見直しであり、小平市図書館の原点を考えることにつながった。そこで、今期のまとめとして、「仲町図書館、公民館合築によるメリット」を考えながら「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針」(2010(平成22)年7月)にある「人と情報の出会いの場」というコンセプトについて、21世紀の仲町図書館像を求めてここに提言することとした。

2. 仲町図書館の歩み

(1) 仲町図書館の誕生

<1953(昭和28)年>

小平市の図書館活動は、1953(昭和28)年 都立立川図書館の「むらさき号」という自動車による移動図書館で始まった。当初は小平町内3箇所を巡回していたが、その後1961(昭和36)年には11箇所、1964(昭和39)年には14箇所になり、その年に小平公民館(現仲町公民館)内に図書室を開設、1975(昭和50)年5月18日に小平市図書館として現 仲町図書館は開館した。当時、多摩地区の32市町村の中で23番目、52館目の図書館であった。

小平市に於ける市立図書館の開館は、市民の期待がたいへん大きかったことが「市報こだいら」から窺うことができるので見てみよう。

<1974(昭和49)年>

開館の前年1974(昭和49)年1月1日号では、見開き2-3ページに渡って「希望のある新年に図書館建設が実現」との特集が組まれ、「建設つち音 ま近!!」「現代の図書館の使命は誰も自由に使えること」「みんなが待ってる“みんなの図書館”」のタイトルが踊っている。続いて同年2月20日号では、「図書館づくりにご参加を 研究会開きあり方を検討」と題して、中央公民館での最初の会合について、市民の方々が図書館に関心をもたれる方への参加を呼びかける記事が掲載されている。

『市の図書館計画については、昨年7月、市社会教育委員会会議で答申がされましたが、これは図書館計画の大綱が示されたものでした。

いうまでもなく、市立図書館は市民のだれもが気軽に利用できる図書館でなければ

なりません。そのためには図書館の施設、設備、運営、市の図書館網などに十分市民の声が反映されることが大切です。

つまり、望ましい図書館をつくりあげていくためには、つねに図書館と市民との間に十分理解を深めながら「市民のための図書館」づくりを進めていく必要があります。

そのため先にだされた図書館計画を実現させていく段階で、その計画への肉付け、細部にわたる内容に市民の方々の参加を得ながら、計画の具現化を検討し、あわせて図書館研究をすすめながら今後の図書館運営に反映させていきたいと思えます。』

<1975(昭和50)年>

1975(昭和50)年3月20日号、開館まであと一歩。この市報では「図書館 5月中旬にオープン」と題して土・日も開館、火・水は夜7時までと記されている。また、この図書館がとりあえず「中央館」としての機能を担い、今後、数か所の「地区図書館」計画もあることが記されている。

同年4月20日号では、「来月18日オープン 3万3千冊の書物で」と題して、利用方法が紹介されていて、いよいよ図書館が身近なものになっていることが想像できる。

1975(昭和50)年5月5日号、4-5ページ見開き記事で大々的に市図書館オープンを「多角的に・・・情報資料の提供」と図書館の利用方法、機能とともに各階案内と平面図も掲載されている。

続く5月20日号では、「オープンした小平図書館 みんなの“読書室”で～す」と、市民の方々の来館を待っている記事。

8月5日号では、「活況です 市図書館」として開館から2か月間の利用状況を報告している。登録状況では図書館に近い仲町、学園東町、美園町の方が多いが、遠方からの利用者も徐々に増加していること、貸出状況では、①貸出冊数が予想を上回っている ②成人男子の利用が予想を上回っている ③社会科学・自然科学が良く読まれている ④児童図書は回転が速い ⑤マネージメント、戦記物、法律書、ガイドブック、園芸書などの利用が多い ⑥文学書・児童図書の利用は予想通り多い ことが記されている。1か月の貸出冊数は45,003冊、1日貸出冊数は1,700冊と、各市平均(48年度、それぞれ24,740冊、870冊)と比して高い数字となっている。いかに市民に待望された図書館であるかがわかる。

<1976(昭和51)年>

1年後、昭和51年6月20日号、「より親しまれる図書館に」と題して1年間の利用状況を説明している。

ここには1年前の開館当日、溢れるばかりに開館を待つ市民の様子、予定時間を早めた開館のことも記載されている。「図書館はみんなの書斎」という見出しがすばらしい。

その後、小平市では、小川、花小金井北などの分室、花小金井、小川西町、喜平、上宿図書館の開館を経て、昭和60年 現在の中央図書館が開館するまで、この仲町図書館は小平市の中央図書館としての役割を担ってきた。

(2) 仲町図書館の現状

仲町図書館開館から今日までの蔵書数、貸出冊数などの推移は次のとおりである。

A. 蔵書数の推移

年度	仲町図書館			小平市全館の蔵書合計			備 考
	一般書	児童書	合計	一般書	児童書	合計	
昭和49年度	20,000	12,245	32,245	20,000	12,245	32,245	仲町公民館内図書室
昭和50年度	31,600	28,269	59,869	31,600	28,269	59,869	5/18仲町図書館開館
昭和51年度	49,630	37,515	87,145	49,630	37,515	87,145	
昭和52年度	61,227	44,707	105,934	61,227	44,707	105,934	
昭和53年度	79,753	46,796	126,549	89,278	62,146	151,424	
昭和54年度	88,962	49,862	138,824	133,587	81,668	215,255	花小金井図書館開館
昭和55年度	54,152	33,680	87,832	168,046	127,144	295,190	小川西町図書館開館
昭和56年度	57,191	34,296	91,487	213,205	146,426	359,631	喜平図書館開館
昭和57年度	60,152	35,566	95,718	251,649	159,432	411,081	上宿図書館開館
昭和58年度	58,676	32,986	91,662	296,842	174,550	471,392	
昭和59年度	62,681	33,022	95,703	359,182	187,131	546,313	
昭和60年度	57,616	29,634	87,250	399,024	210,819	609,843	中央図書館開館
昭和61年度	66,136	32,335	98,471	456,106	234,387	690,493	
昭和62年度	58,798	30,451	89,249	463,534	223,156	686,690	津田図書館開館
昭和63年度	60,819	29,790	90,609	503,131	234,020	737,151	
平成元年度	74,284	32,997	107,281	581,278	252,078	833,356	
平成 2年度	68,269	31,313	99,582	595,172	262,681	857,853	
平成 3年度	70,910	32,670	103,580	624,210	275,346	899,556	
平成 4年度	71,758	32,490	104,248	653,211	280,547	933,758	
平成 5年度	74,418	33,564	107,982	679,386	289,407	968,793	
平成 6年度	77,191	34,717	111,908	701,615	298,845	1,000,460	
平成 7年度	80,452	35,166	115,618	728,080	306,103	1,034,183	
平成 8年度	81,092	35,585	116,677	738,192	312,002	1,050,194	
平成 9年度	82,589	36,506	119,095	751,714	319,515	1,071,229	
平成10年度	78,398	35,424	113,822	755,253	320,141	1,075,394	
平成11年度	75,071	35,807	110,878	766,132	331,088	1,097,220	
平成12年度	68,830	34,896	103,726	760,535	337,414	1,097,949	大沼図書館開館
平成13年度	69,788	34,790	104,578	741,410	337,008	1,078,418	
平成14年度	70,532	35,675	106,207	748,503	344,313	1,092,816	
平成15年度	70,359	36,000	106,359	749,280	349,357	1,098,637	
平成16年度	69,657	35,666	105,323	735,318	349,925	1,085,243	
平成17年度	70,103	34,773	104,876	738,500	346,149	1,084,649	
平成18年度	70,629	34,758	105,387	742,317	347,727	1,090,044	
平成19年度	70,592	35,062	105,654	747,530	350,998	1,098,528	
平成20年度	69,886	34,781	104,667	743,465	349,911	1,093,376	
平成21年度	66,815	34,572	101,387	736,474	348,912	1,085,386	

B.貸出冊数・複写サービス・リクエスト件数の推移

年度	貸出冊数		複写サービス		リクエスト	
	仲町図書館	小平市全館	仲町図書館	小平市全館	仲町図書館	小平市全館
昭和50年度	373,781	414,392				
昭和51年度	394,171	498,186	7,036		2,489	2,489
昭和52年度	432,225	533,893	9,406	9,406	2,613	4,477
昭和53年度	422,069	563,662	12,308	12,308	2,318	5,113
昭和54年度	371,285	749,875	9,373	9,373	2,203	6,015
昭和55年度	319,088	827,806	8,861	8,861	2,099	7,066
昭和56年度	256,960	999,672	8,228	10,604	2,000	8,871
昭和57年度	231,309	1,076,591	8,956	12,442	2,090	10,590
昭和58年度	216,682	1,052,499	8,262	16,795	2,332	11,408
昭和59年度	209,630	1,063,582	7,084	16,738	2,446	11,843
昭和60年度	119,559	1,168,415	2,805	25,101	1,390	14,252
昭和61年度	107,388	1,109,345	2,253	30,471	1,065	13,841
昭和62年度	102,531	1,110,247	1,524	31,756	1,277	14,123
昭和63年度	88,797	1,079,612	1,739	34,385	1,079	16,018
平成元年度	91,878	1,046,594	1,836	36,074	1,380	16,688
平成2年度	96,158	1,043,150	1,953	36,378	1,554	18,759
平成3年度	104,441	1,057,842	2,777	53,518	1,833	21,704
平成4年度	111,267	1,125,796	4,460	77,974	1,851	24,465
平成5年度	112,788	1,168,450	4,169	86,401	2,366	30,514
平成6年度	111,920	1,181,608	4,121	90,743	3,049	34,388
平成7年度	108,512	1,161,945	4,105	101,955	3,544	35,389
平成8年度	103,689	1,127,995	4,517	100,488	4,073	36,321
平成9年度	98,437	1,090,895	4,230	99,851	4,689	40,950
平成10年度	106,289	1,137,897	3,873	91,188	5,191	44,910
平成11年度	113,189	1,122,562	3,161	92,569	5,270	48,517
平成12年度	126,283	1,136,467	2,992	83,220	4,791	46,989
平成13年度	106,942	1,145,218	2,716	76,533	4,133	48,947
平成14年度	106,846	1,154,099	4,181	82,570	5,840	67,754
平成15年度	127,706	1,367,999	4,007	85,486	10,392	125,174
平成16年度	140,342	1,469,748	3,906	73,158	13,165	168,364
平成17年度	142,577	1,483,023	4,168	69,976	15,306	187,873
平成18年度	141,840	1,520,136	4,130	64,600	17,061	200,201
平成19年度	136,939	1,540,904	3,855	64,382	16,934	214,467
平成20年度	141,846	1,595,559	4,504	59,102	18,605	229,238
平成21年度	137,148	1,631,756	3,056	57,152	20,267	249,161

(注1)

注1 2003(平成15)年 インターネット上での全件予約(5冊)受付開始。
貸出冊数を5冊から10冊に変更。

仲町図書館の2009(平成21)年度の蔵書数は101,387冊、貸出資料数は137,148冊であり、地区館7館中(分室を除く)、蔵書数は4番目・貸出数は6番目となっている。また、下記の通り分担収集を担当し、図書館の特色ともなっている。

<小平市図書館収集分担>

館類	中央図書館	仲町図書館	花小金井図書館	小川西町図書館	喜平図書館	上宿図書館	津田図書館	大沼図書館
0 総記	図書館 書誌・写本	学会・団体 機関					出版・読書	
1 哲学	哲学・心理学 宗教							
2 歴史		歴史 地理	紀行 旅行				紀行	
3 社会科学		財政・統計 社会	政治・法律 経済・経営		教育	風俗・習慣 民俗学		
4 自然科学				数学・科学 動植物・医学				
5 技術工学					土木・建築 機械・電気			
6 産業			商業			農業 交通・通信		
7 芸術美術				工芸 書道			彫刻 絵画・版画 音楽	スポーツ 諸芸 演劇・映画
8 言語								言語
9 文学	古典 和歌・俳句 詩 児童文学論	文学年鑑 文学雑誌	個人文学全集	文学者の伝記 SF・推理	外国文学	文学評論 論文 時代小説	文学史 文芸思潮史 随筆	戯曲 日本文学
特別 収集 資料	古文書 郷土 行政資料 視聴覚資料 (CD・CT・ DVD・VT・LD)	逐次刊行物 タウン紙 (小平・東京に 関するもの)	折り込み広告 (チラシ)	点字 録音図書	写真資料 教科書	新聞記事切抜き	ポスター (郷土に関するもの)	市内在住者の本 地方出版物

(小平市図書館ホームページより：一部表記を改めた)

3. 人と情報の出会いの場ー 21世紀の仲町図書館

2010(平成22)年5月に広報された「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針(案)」では、「現在の仲町公民館は、かつての小平村役場、町役場として行政の拠点であり、かつ仲町公民館・図書館という小平市の社会教育の発祥の地であるといった立地背景を踏まえた、地域のシンボルとなる設計を目指す。」と明記され、6月1日から30日までの間に市民から意見を求めた結果、40人、4団体から意見が寄せられた。その後、方針の決定、基本設計業者の公募、採択、12月に市民説明会を開催し、計画は、着々と進行している。新築される仲町図書館は、公民館との合併となることは方針として明確なので、そのメリットを生かした建物となることを期待したい。

(1) 複合化による利便性の向上

「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針」に示されているように、今回の建替えにあたっては、公民館の持つ「人」との出会い、図書館が有する「情報」との出会いをもって「人と情報の出会いの場」を基本コンセプトにしている。複合施設となるため、従来の施設よりコンパクトになるが、両者の特徴を活かすようにしていただきたい。

①世代を越えた市民の交流の場としての多目的スペースの整備

限られたスペースを有効利用するためには、公民館、図書館で共有できる多目的スペースの整備は大事なことである。公民館や図書館が実施する各種講座・講演会は時間を調整して両者の参加者増を目指したい。これまで公民館と図書館が別々に開催してきた講座や講演会のタイアップも市民の文化知識の向上には有効である。また、両講座・講演会に参加する方々との交流が生まれ、新たに図書館を利用する方が増えたり、公民館まつりなどへの参加者の増加も見込まれる。同世代だけでなく、世代を超えた交流、仲間づくりの実現が期待できる。そうした講座・講演会の折には、図書館主催の講演会で行われているように、関連する図書資料を揃えたり、その後発展した読書会などに図書資料を提供するなど、図書館の積極的な関わり合いが望まれる。仲間づくりという点では、仲町図書館の近隣には小学校・中学校・高校が点在しており、公民館を利用して小学生や中学生または高校生を対象とした読書会を開くなどの試みもぜひ実施してほしい。この年齢層だからこそ、本を通じた仲間づくりが重要だと考える。これらの交流をスムーズに且つ数多く実現させるには、まず公民館、図書館職員の交流が必要である。両施設が合築されることのメリットを最大限に活かせるよう、両職員間の連絡を密にし、今市民が求めているものを敏感に捉え、一体となってサポートしていただきたい。

一方、多目的ホールの配置が図書館に近いと話声が伝わるなど、弊害も生じるので、防音には注意をしていただきたい。また、公民館活動の一環として料理教室なども実施されるので調理設備も設置されるであろうから、防火、防水への配慮もお願いしたい。

②学習室と読書室

公民館の多目的室で講座や講演会が行われていない時間帯は、図書館の読書室としても利用されることが想定できるが、利用スケジュールの広報をしっかりと行い、混乱が生じないように努力が要求される。

③BDS 導入により館内どこでも読書室に

図書館に BDS (ブック・ディテクション・システム) (注 2) を導入することで閲覧スペースの拡大を図ることができるが、静かに読書・勉強したい利用者と、親子・仲間とグループワークをしたい利用者がそれぞれに利用できるよう多目的ホールと読書室との区別はお願いしたい。

(注 2) 書籍 (資料・AV メディアを含む) に IC タグを貼付け、運用する事により図書館における様々な業務の効率化を可能とする装置

- ・カウンターでの貸出・返却業務の効率化
- ・自動貸出機での簡単操作で貸出が可能
- ・ゲートを設置することによる盗難防止の効率化 (BDS)
- ・曝書、蔵書管理の簡素化 (コストダウン・作業時間の短縮化)

④公民館講座・施設を利用した学校図書館ボランティア等の育成

現在、小平市立図書館では、古文書、図書の修理、地域資料のデジタル化、読み聞かせ・おはなし会、点訳、朗読、拡大写本、布の遊具などのボランティアが作業、活動を行ない、図書館利用者のサービスに寄与している。また、学校図書館では、学校図書館ボランティアが、司書教諭、協力員とともに子どもの読書活動を推進している。ボランティア講座や学習会の場として多目的室が、実践の場として図書館が利用できることはメリットである。

公民館に集う方々が図書館で活動するボランティアや学校図書館ボランティアに興味を示してくださり、応募してくださることを期待したい。特に「学校ボランティア・スキルアップ講座」や「学校図書館ボランティア交流会」などを多目的ホールを拠点として開催することになれば、公民館に集う方々にも、学校図書館ボランティアへの理解と関心とを持っていただけることが期待される。また、そのことが、仲町図書館の近隣にある小平第十四小学校、学園東小学校、小平第一中学校をはじめとする学校図書館との連携を深めていくことにも繋がっていくと考える。

(2) 学校図書館との連携推進館としての仲町図書館

2008 (平成 20) 年 6 月に図書館法が改正された。①図書館は市民の社会教育などで得た学習効果を活用して行う教育活動を支援する、②図書館が行う事業は、家庭教育の向上に資するよう配慮する、③図書館は運営状況に関する評価や改善、情報提供を行う、の 3 点である。これを受けて平成 22 年度の「小平市図書館事業計画」では、主な事業として 9 つを挙げている。その中に「小・中学校との連携を深め、学校図書館データ管理システム運営を支援するために、学校図書館相談員による巡回を実施します。」「学校図書館との連携を図るため、小学校・中学校への協力員の配置を実施します。」と記されている。

この「図書館事業計画」の内容を高めるために、新しい仲町図書館は、学校図書館との連携推進館としての役割を担うことが、小平市の方針であり、今回の改築に伴って、より一層、学校図書館支援事業の中心的役割を担うこととなる。支援のための実施事業は、相談員の巡回、協力員の配置と研修の推進、教科の学習支援、団体貸出・読み聞かせ等の支援、関係者による連絡会議の開催など多岐にわたる。これらを積極的に遂行するためには、専門の知識と経験のある専任の職員の配置が必

要と考える。小平市の学校図書館支援事業のさらなる充実を期待している。

(3) 情報リテラシーへの対応

世はまさに情報化時代。図書館利用者が求める図書・資料にどのようにしたら辿りつけるか？ 図書検索をはじめ、世の中に溢れる情報をどのようにキャッチし、どのように生活に生かすか。Web 上からの情報は欠くことができない。そのためにはパソコンの使い方や、インターネット社会に対応する智恵を獲得する機会と場がぜひとも必要となってくる。公民館と図書館とで「パソコン講習会」を企画運営し、利用者は獲得したノウハウを用いて図書検索、情報の取捨選択、ネットワーク社会のエチケットなどを獲得し、より充実した生活に結び付けていただきたい。そのためにもインターネットへの接続口（HUB）の設置だけでなく、無線 LAN への対応もお願いしたい。

事務室が共有となることから、両者の事務的連携を図り、情報化社会に対応する施設として充実させ、市民サービスの向上に繋がることを願っている。

(4) データの活用

近年、図書館の蔵書には BDS（ブック・ディレクション・システム）に対応する小さいチップ（IC タグ）が貼られ、図書整理などに用いられるようになり、蔵書管理の効率化にも繋がっている。この IC タグは、形は小さくてもデータ量は計り知れないほどの情報を入力することができる。ここにどんなデータを持たせ、どのように利用するのか、データ管理の方針を決定し、きちんと設計しなければならない。

図書館では、図書情報と利用者データを掛け合わせることによって、どんな図書が人気なのか、どんな年齢層が図書資料を利用されているのか、また、図書館の入退館もこの IC タグによって把握することができる、など図書館の利用状況を詳細に分析することができ、選書、廃棄の目安としても活用できる。このように IC タグの活用によって、図書館の現状をより具体的に把握できるが、その統計情報の活用にあたっては、プライバシーに配慮しつつ、選書、図書館の表示、広報などに役立てていただきたい。その他、近年では携帯電話の活用も多く、その機能も向上している。携帯電話への情報提供も検討を始めてもよいであろう。

また、BDS（ブック・ディレクション・システム）を採用することにより、館内どこでも読書室となりうること、そして貸し出しロッカーの設置により 24 時間貸出が実施されることは嬉しいことである。

(5) 情報の発信と広報

2007 年（平成 19）3 月に本協議会が提案した「創造性の高い仲町図書館の開設に向けて」でも記しているが、図書館蔵書検索システムが導入され、資料の電子化、インターネット上での情報検索サイトが多くある現状であるから、これらを利用するための端末を設置することは不可欠な状況であろう。図書館蔵書検索システム（OPAC）の専用端末と、インターネットに接続して Web サイトから情報を検索できる開放端末との区別は難しい現状であるが、それぞれの端末をどこに設置したらよいのか、図書館内がよいのか、エントランスをはじめとする共有スペースがよいのか、図書館・公民館それぞれの利用者のニーズと利便性を考えて、スペースのより

効率的な活用を考えて検討していただきたい。

また、公民館・図書館の事務室が1つにまとまるのであれば、おはなし会や講演会などの開催情報の共有が進み、より効果的な広報ができ、より多くの方々に参加していただけるのではないだろうか。

4. おわりに

2010(平成22)年10月、読売新聞に「読書週間世論調査」の結果が新聞に掲載されていた。「本離れ変わらず」と、1ヶ月間に1冊も本を読まなかった人は半数を超え、「本離れ」が続いているという。『2011年度 読書世論調査 第64回読書世論調査 第56回学校読書調査』(2011年 毎日新聞東京本社広告局)には、16歳以上を対象とする読書世論調査でも、「書籍を読む」との回答は46%と、同様の傾向があると記されている。一方、同時期に行った学校読書調査では、小学生(4~6年)が1か月に読んだ平均冊数は10.0冊(前年8.6冊)、冊数別集計でも「10~15冊」が20%、「16冊以上」が18.6%(前年13.9%)と多読児童が増えている結果が発表されている。

仲町公民館と仲町図書館が複合施設として生まれ代わることが、小平市の方針として決定していることから、「読書という個人活動から、読書サークルという共同活動への発展」の動きもあり、子どもの読書推進の拠点、大人の「本離れ」の防止、となっていくことを期待したい。

また、今回の建替え計画は、新しいタイプの複合公共施設であるから直接、運用・運営に携わる公民館、図書館の各館長およびスタッフの人材確保、養成なども、併せて準備に入られるよう提案しておきたい。人と情報の出会いの場という有機的な結合をうまく実行し、“広場”の交通整理をしながら盛り上げていくのは開館後1~2年における管理スタッフの活動(=気働き)いかんである。長野・小布施など似た形のセンターに出向いて学習し、準備する時間が望まれ、将来的には運用の妙を発揮した『小平方式』の複合施設と呼ばれるよう期待したい。

公民館と図書館それぞれの施設としてのスペースは、従来のスペースを確保することは難しく、図書館の蔵書も3割減少となるが、ネットワーク機能を活用して両者の利点を活かし、より多くの市民に愛され利用されることを願っている。

この提言を提出するころには建替えの基本設計は固まっていると思われるが、ここで提案したことが今後の実施設計や運営に反映されることを願っている。

<添付資料>

『仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針』2010(平成22)年 小平市

『「仲町公民館・仲町図書館建替えに係る方針(案)」に対する市民意見公募手続の意見への対応状況について』2010(平成22)年 小平市

< 参考資料 >

『小平市立図書館 30 年の歩み』 2006(平成 18)年 小平市中央図書館

『平成 22 年度 小平市立図書館事業計画』 2010(平成 22)年 小平市立図書館

『小平市立図書館事業統計 平成 21 年度』 2010(平成 22)年 小平市立図書館

2011 年度 読書世論調査 第 64 回読書世論調査 第 56 回学校読書調査 2011 年

毎日新聞東京本社広告局

2009-2010 年度 図書館協議会委員

海老原 誠 五十嵐 孝博

伊藤 規子 杉本 順子

田中 勝男 山城 誠一

鈴木 由美子 安形 輝

大沼 晴暉 落合 美代

保坂 重政 中空 善彦

松尾 正幸 (2010 年 3 月まで)